

会 議 録

1. 会議の名称 高齢者保健福祉推進委員会
2. 開催日時 令和5年12月19日（火） 13時30分～15時00分
3. 開催場所 熊取ふれあいセンター 1階 健康づくり室
4. 議題 案件1 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画（案）について
案件2 その他
5. 公開・非公開の別 公開
6. 傍聴者数 0人

7. 審議等の概要

案件1 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画（案）について

○事務局説明

- ・前回素案からの変更点、第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画（案）について重点取り組み等の説明を行った。

○審議内容

計画案について、委員全員の挙手により承認された。なお、以下のとおり質疑、意見があり、これらの意見及び大阪府との事前協議結果を反映した当該計画（案）を基に、パブリックコメントを行うことで承認いただきました。

○審議内容

- ・「地域支えあい体制の整備」について、どのように進めていく方針かお聞かせ下さい。
→現在、第1・2層は地域包括支援センターや役場の職員が兼務して行っておりますが、まずは地域に入らせていただいて、その中で中心的に活動されている方々に2層の生活支援コーディネーターを担っていただくなどの連携を模索しています。
- ・「タピオステーションの全地区への展開」について、タピオステーションの地区の普及率は何%ぐらいか。
→タピオステーションは町内の39自治会のうち28地区で実施しており、約

70%ぐらい活動していただいている。未実施の地区は、出前講座等で地区の協力をいただきながら進めていきたい。

・同じくタピオステーションの件ですが、地域から手を上げたら行政が動くというシステムになっています。このまま待っていて全地区いけるかということは疑問があります。提案ですが、オール熊取として、自治会、福祉委員会、長生会があります。それらをうまく活用して進めていけたらいいと思います。→様々な場面において、未実施地区へお声がけさせていただいております。

・地域から手を挙げるのではなく、行政から自治会、地域のグループにお願いはできないのか。

→タピオステーションは主体が住民の方にあり、地域の中で「やりたい」という声を集めて実施していきたいと思います。

・タピオステーションを39自治会に広めていくということは大事なこともかもしれませんが、一方で、タピオステーションのある28地区は担い手不足により減っていく可能性がある。

→計画の中でも、今後、地域づくりは大事なことです。現役の方も少なくなっていく、限られた人材で第9期以降何が大事かと考え、災害時や近所の見守りなどの支援がとても大事と考えています。そのような課題を生活支援コーディネーターなどの取り組みをとおして、地域でどんな取り組みが必要なのかなどを話し合う場づくりを進めていきたいと考えています。。

・認知症対策として、社会参加や知的活動も大事と思うので図書館の講座など活用する方法は考えられないか。また、そうなると、ひまわりバスなどの移動手段が必要になります。

→ひまわりバス担当課に意見を伝えさせていただく。図書館では「あたまイキイキ音読教室」などを実施しており、今後も図書館と連携しながら事業を進めていきたい。

・介護者家族の会について、月1回の集いではなく、いつでも集まれる場所の構築の後押ししてもらえるとありがたい。

→総合事業の1つに住民等の主体によるサービスBがあるので、計画の中でもそういった施策の充実を検討していますのでご相談いただけたらと思います。

・ひまわりカフェについて、活動を広げるために、第9期計画では開催回数や参加人数の目標値を第8期計画より上方修正してみてもどうか。

→令和5年度より、ひまわりカフェの新規立ち上げや継続支援のため補助金を創設している。目標値については検討したい。

案件2 その他

・特になし。

8. 審議会の情報	名称	高齢者保健福祉推進委員会
	根拠法令等	附属機関条例 高齢者保健福祉推進委員会規則
	設置期間	平成18年4月1日～
	所掌事項	(1) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定又は見直しに係る調査及び検討に関する事務、並びに目標達成状況の点検及び進行管理に関する事務。 (2) 地域密着型サービスを提供する事務所の指定やサービスの指定基準及び介護報酬の設定等地域密着型サービスの運営に関する事務。 (3) 地域包括支援センターの適切な運営、公正中立性の確保、その他センターの円滑かつ適正な運営に関する事務。
	委員数	18名以内

9. 担当課 介護保険課